

思いが形になる ～AIと作った在庫管理システム～

村山総合支庁建設部建設総務課
主事 佐藤 真子

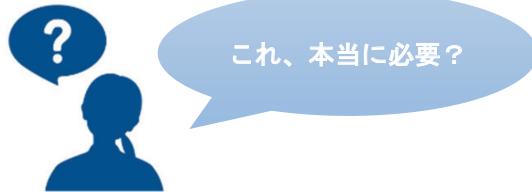


2

はじめに～少しの“無駄”から～

- ・事務員：紙の要求書をExcelへ転記→発注リストを作成
 - ・職員：発注リストを見て、発注システムへ再入力

同じ情報を3回入力している



3

きっかけはAIとの出会い

- ・「物品管理を楽にしたい」と相談
 - ・提案キーワード：「定位置管理」「在庫管理ソフト」「バーコード」

予算が厳しいならマクロを使って
システム化する方法があるよ！



※マクロ：Excelで作業を自動化する仕組み

4

新システムの全体の流れ ～“データの一筆書き”へ～

- ①QRコード読み取り
 - ②出庫入力シートへ括出力
 - ③処理実行ボタンを押す 
 - ④在庫リストへ反映
 - ⑤発注処理ボタンを押す 
 - ⑥発注リスト出力

5

7

改善による時間削減効果 ※ 1日10件処理と仮定

【旧システム】

要求書の記入 : **6分40秒**
 出庫処理 : **2分30秒**
 発注処理 : **1時間5分**

【新システム】

要求書の記入 : **0秒**
 出庫処理 : **10秒**
 発注処理 : **5分**

合計削減 : **4時間/月**
 (年間約48時間)



6

8

作業する時間は減らしても、考える時間は減らさない
～判断すべき点は残し、人が主体的に考え抜く仕組みに～

【作業する時間】

発注リストの出力形式

商品名 | メーカー | 品番 | 規格

➢ セルを1つずつコピーする作業を削減



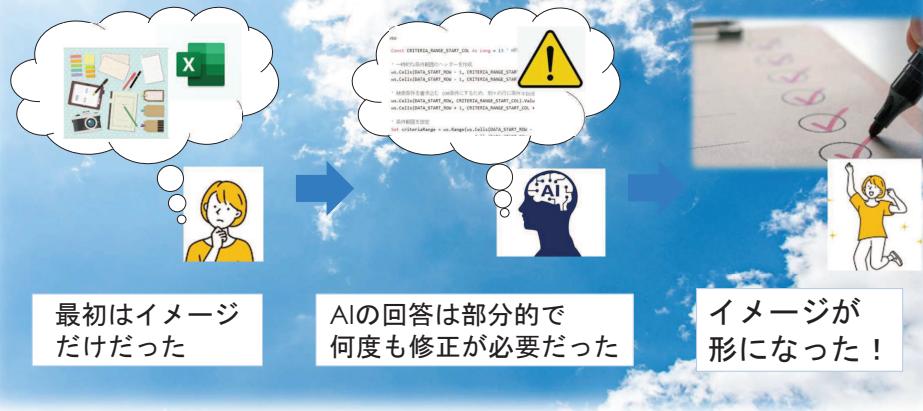
【考える時間】

発注数は“あえて”自動で出力しない

➢ 予算や緊急性に応じて、人が柔軟に考えるため

9

思いが形になる

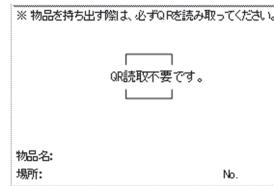


10

ご清聴ありがとうございました

11

«付録①» QRカード



【QRカード】

- ・使用課ごとに色分け。自分の所属が一目でわかるように。
- ・各物品ごとに用意

【QR不要カード】

- ・付箋や封筒など、安価で大量に使うものは手間を考慮し、個人のQRコード読み取りを不要に。代わりに倉庫や箱から出した際に、経理係で読み取る。

12

«付録②» QRコード運用に関する協力者一覧

本システムの運用にあたり、経理係事務員のお二人に多大なご協力をいただきました。

ここに記して深く感謝申し上げます。

- ・QRカードのレイアウトを考案し、棚卸順や発注点の再検討をしてくださった 板垣 様
- ・大量のQRコードデータを作成してくださった 加藤 様

